

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話)0995-64-2520
自己評価作成日	平成30年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は、今年の8月で16年目を迎えます。これからも新たな気持ちで、利用者様、家族、地域住民、職員共々地域密着型として温泉の湧き出る自然豊かな団地内の一角で暮らしております。温泉の方もアトピーや神経痛や胃腸障害等に効果があり完全かけ流し湯で提供し皆様入浴されております。また、地域住民の方、ご家族を交えて夏祭りやバーベキューを行い皆様とても喜ばれ、ご協力をいただきながら大盛況にて終えることが出来ました。また利用者様と若手職員と門松作りをしたり等行事も行いました。天気の良い日には鹿児島神宮、菜の花畑、コスモス見学やドライブ、地域のお散歩等もしております。利用者様が住み慣れた地域で生活ができるよう支援を行っています。利用者様自身、ご家族の希望もあるのですが看取りや在宅復帰に力を入れており医療機関との細めな連携を取り入れ利用者様、家族が安心安全に暮らせる環境作りに努めており、ライフサポーター「介護何でも相談所」の事業所で職員2名で対応しており家族、地域住民の相談窓口としても安心して暮らせる事業所として取り組んでいます。お口に合うように美味しい食事については、季節に応じた食事にしたり様々な料理を作り召し上がっていただき活力あふれる生活をして頂けるよう心掛けております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・温泉の湧き出る自然豊かな団地内の一角に立地する、3ユニットの事業所である。住宅も多く散歩の際には挨拶や会話を交わし、ふれあいながら生活できる環境である。
- ・地域行事の清掃作業などに積極的に参加する一方、法人の夏祭りやバーベキュー大会・炊き出し訓練などの行事にも多くの地域住民の参加がある。「まちかど相談所」や認知症サポーター養成講座を通じて地域交流を活発に行い、認知症の相談を受けたり助言などをして、介護情報の発信の場となっている。
- ・管理者は職員の資格取得に向けた支援を行い、職員の意見や提案を積極的に反映している。職員間のコミュニケーションも良く、職員の離職者も少ない。
- ・利用者の個々の力量を大切に、生花や読書・ちまき作り・ぬり絵など、その人らしい生活ができるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に沿って利用者様中心のケアを行い日々の生活を大切にしている。	地域密着型サービスを踏まえた理念を、玄関や事務室に掲示し、申し送り時や会議等で振り返り、確認しながら理念を共有して実践に繋げている。半年毎に目標を掲げて自己評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事の参加に対しては高齢化に伴いなかなか難しい部分もあるが施設行事の際には地域住民を招待し全員参加で交流している。	地域の運動会の見学や交流会に積極的に出かけている。事業所の行事や炊き出し訓練などにも多くの地域住民の参加がある。まちかど相談所や認知症サポーター養成講座を通して日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	まちかど相談所避難訓練等、地域住民の参加、協力して情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は年6回行っている。資料を添付し意見交換を行いサービスの質の向上を図る。</p>	<p>会議を定期的に行い、入居者の状況や行事報告・外部評価の報告・ヒヤリハット等の報告を行い、意見交換をしている。地域の状況や行政からの情報などがありサービス向上に活かしている。提案により、汚物入れの蓋を設置し、衛生面の保持に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>霧島市主催の催し物に参加しています。入居者様に変化があったとき福祉課などに連絡し対応しています。</p>	<p>市担当者には、必要に応じて電話や窓口に出向き相談や情報を交換して助言を貰っている。生活保護の担当者とも密に連絡を取り合っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、市主催の研修会や地域包括支援センター主催の認知症サポーター養成講座活動にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>立ち上げている委員会を中心にスリーロックを行わない。チェックリストを活用し身体拘束をしないということを認識する。</p>	<p>法人で「身体拘束ゼロ」廃止委員会が2ヶ月毎に開催し、法人全体での研修会に参加した職員が、事業所での会議で伝達したり、事業所でも身体拘束についての研修を実施している。言葉による拘束を含め事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせず、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止、権利擁護研修に参加して事業所内での取り組みを行い県に報告する。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活の中で研修会やミーティングを行い入居者様1人1人の尊重を守りその人らしさを守る。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者、ユニットのリーダーが本人様を含め家族へ十分に説明し意向を聞き、納得、理解をして頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時に気になることや意見を聞き要望も把握しながら情報交換を行う。家族への情報発信と働きかけを行う。</p>	<p>利用者からは、リラックスしている時に話しがはずみ、日々の生活の中でも意見や要望を聞いて対応している。家族からは、面会時や家族会・行事参加時・運営推進会議時に意見を言える雰囲気作りをして、職員から近況報告を行い、要望や思いを出し合って、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の全体ミーティングの実施事例を基に職員の意見や要望を伝え、業務改善に取り組んでいる。</p>	<p>管理者は職員とのコミュニケーションを図り、ミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。出された意見や提案は育児休業制度や年休制度などの業務改善サービスなど、働きやすさに反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の職員の資格取得に向けて計画を行っている。健康診断や福利厚生への支援が行われている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の苑全体の勉強会への参加。年数別の職能評価シートや自己評価など活用し意識改革を行う。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着連合会の外部研修への参加。これらの取り組み等発信して情報を共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族から情報を得る。入居者様の生活歴や会話の中から思いをつかみ取りその人らしい暮らしの実現に向けた取り組みを行う。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が気兼ねなく来苑でき面会時の大切な時間を有意義に過ごせる様、環境、関係作り仲介支援を行い信頼関係の構築に努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族に協力して頂き、意向も伺い情報を基にミーティングを行いその方にとって今必要な支援を見極める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	優しさを持ち、不安を知りお互いに声を掛け合い自立を見守りながら分かち合い共に生活しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の意向もプランに反映させ家族へ現状を報告し共に相談し話し合いのできる環境作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族に協力してもらい情報収集を行い昔話や昔行かれていた場所へドライブに参加して頂く。</p>	<p>本人がこれまで大切にしている馴染みの人や場所を把握して、ドライブしたり、昔の職場関係の会に参加支援もしている。馴染みの理美容師の訪問や親戚や友人・知人の訪問の際には、お茶を出したりするなど、継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外泊や外出・外食・墓参などにも出かけている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションを計画し参加して頂く事で会話も弾み笑顔も多い。家族的な雰囲気を味わって頂き保たれるように考えております。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他施設へ行かれたり入院中に退所された場合でも訪問したり、電話、手紙等で現状を知り相談に乗ったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の会話の中からその方の思いや希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、ご家族の意見も反映しながら、本人本位に支援している。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。出された意向で家族とパチンコに出かけた例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に訪問したり状況報告書も見たりして情報を得ている。家族の面会の時にお話の中で知ることもあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェック、ケース記録、申し送り簿をみて現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の話し合い、毎月のユニットミーティングでそれぞれの意見を出し合い担当者会議等の意見を出し介護計画している。	本人や家族の希望や要望等を把握し、主治医の意見を参考に、担当者会議で話し合い、介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに基づいて実施している。情報の共有や継続性のあるケアが行われている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族のその時の状態によって柔軟に対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者様の散髪を地域の美容師さんに切ってもらっています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前にかかっていたかかりつけ医で受けられている。病院受診の際は職員が必ず職員が付き添い家族に報告しています。</p>	<p>かかりつけ医は、本人や家族の希望を聞き支援している。協力医療機関の月2回の往診や歯科の往診もある。他科受診は家族の協力を得て支援している。緊急時の対応などは連携を取りながら、適切な医療が受けられるよう支援している。受診結果は家族と共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>情報や気づきを看護師に伝え、適切な受診や看護が受けられている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は毎日洗濯物を取りに行き入居者様を見舞うようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向を尊重し、できる限り希望に沿った終末期が迎えられるよう努めている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い、方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は、事業所でできる事とできないことを説明し、随時意思を確認しながら取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の為に全員心肺蘇生、AEDの使用方法を研修にて学んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に二回避難訓練を実施している。その中に災害訓練を入れている。台風や雪のひどい時など遠い職員は泊まるなどして備えている。</p>	<p>消防署立会いのもと、年1回昼夜想定避難訓練と、毎月自主での訓練も実施している。消火器点検や通報の流れの確認も行っている。スプリンクラーや緊急通報装置・避難用滑り台も設置している。毎年防災計画の見直しを行っている。自然災害マニュアルも整備している。地域との協力体制もできている。災害時の水や米・レトルト食品などの備蓄がある。地域住民の備蓄も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員との会話の中で、本人の希望や行動を職員みんなで共有できるように心がけている。</p>	<p>マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけのケアに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行い、部屋に入る時やトイレ・入浴など、プライバシーが守れるようにしている。トイレのドアもアコーディオンカーテンから扉に取り換えている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常の会話の中で本人の希望や行動を職員全員で共有できるように心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>季節感を味わっていただけるように過ごし方を重視し本人の希望に添えるように努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>お出かけや受診の際と、入浴後は身だしなみの支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べることに楽しみを持っていただけるようになるべく1人1人に合わせて嗜好品の提供も行っている。	菜園の野菜を採取したり、旬の食材を使用し嗜好に配慮した献立を作成し、個々に応じた食事形態を工夫している。準備や片づけを職員と一緒にしたりもしている。手作りでおはぎやちまき・まんじゅう・誕生日のケーキ等を作っている。季節の行事食や外食・刺身など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。家族と外食に行くこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に合った食事形態での提供、飲み物にはトロミをつけるなどの工夫をしたりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを必ず行う。うがいが難しい方、できない方は口腔ケアティッシュ、ハミングッドを使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尿の訴えがない方々に時間をみて声掛け行いトイレでの自尿を促している。陰洗、清拭も行っている。	排泄パターンを把握し、必要に応じての声かけをし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。オムツ「ゼロ」をめざして取り組んでいる。排泄用品は個々に応じて使用している。清潔保持に陰部洗浄や清拭を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食の前に牛乳を飲んでいただいたり水分を多く摂って頂いたり困難時は医師に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の完全かけ流し温泉を楽しまれている。入浴拒否や体調不良の際には時間をずらしたり翌日に変更などしている。	基本的には、週3回午前中であるが、個々人の体調や希望に沿って柔軟に対応している。天然温泉で一般浴と機械浴があり、車椅子対応の機械浴で入浴を楽しめるよう支援している。シャワー浴も実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋で休まれていたりリビングで過ごされる方たちに分かっている。その都度対応させていただく。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬のないように確認を3回実施し、確実に服薬して頂いてます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味、好きなことをその人に合わせて行っている。午前、午後にどちらかでレクリエーション活動、お誕生日会など実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気がいい日にはお散歩にお連れしたり近くの公園で桜やコスモス見学をしたり楽しんでいただけるように支援しています。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や公園に出かけている。希望でドライブや買い物に行ったり、中庭で、お茶会や外気浴を楽しんだりしている。年間計画で初詣や季節の花見にも出かけている。家族の協力で、外出や外食・墓参などにも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の支払いや所持できない方に関しては外出時に欲しいもの好きなものを買って頂く。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人様の希望時やお礼の電話をして頂く。字が書ける方に方に関しては一緒に年賀状などを書いていただく。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内やリビングに利用者様の作品を飾ったりさせていただき喜ばれている。お部屋も常に掃除を行い清潔を保つ。</p>	<p>共用空間は、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。高台のため、景色が楽しめる。壁には利用者の季節の作品を貼布し、季節感を大事にしている。多くのソファがあり、好きな場所で居心地よく過ごせるような配慮がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ガラス越しにひなたぼっこをされている。洗濯物をいれるとたたんでくれる方もいらっしゃいます。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅で使われていたタンスや床頭台を置いて使われています。担当の職員がしつらえについて行っている。</p>	<p>居室はエアコン・ベッド・タンスが備え付けである。自宅で使い慣れた物やテレビ・家族の写真・寝具・時計などが持ちこまれ、個性ある部屋になっている。ホームで作った作品も飾っておりプライバシーも守られ、ゆっくり安心してくつろげる部屋になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩かれる方や車いすの方が安心して移動できるように気を付けている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない